

ディプロマ・ポリシー（修得する能力）

本コースでは、次のような力を修士課程より高い基準で修得することができる。

- ・基礎数理，計算機，モデリング，人工知能に関する幅広く深い専門知識を元に自ら新しい学問分野を切り開く能力
- ・自ら新しい問題を発見する能力
- ・技術的観点に加え，広く社会的観点からも自らの専門分野の状況を客観的に評価できる能力
- ・国際的な共同研究・開発をするために必要な強いリーダーシップ

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本コースでは、「ディプロマ・ポリシー（修得する力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

A) 専門分野を基軸とした課題発見・探究力

博士論文執筆に向けた研究分野のサーベイをおこなうことにより，研究分野の現状を俯瞰し，課題を発見する能力を学修する。

B) 専門的創造力・発信力

博士論文執筆に向けて，自らの専門分野への理解を深め，さらに新しいアイデアを着想する能力を学修するとともに，それを論文としてまとめ国際的な場で発表することにより発信力を高める。

C) リーダーシップ力

系で提供している博士フォーラム科目を通して，専門を異にするチームメイトと積極的に議論を行い，高度な討論をする能力について学修するとともに，リーダーとして多様な考えや意見を整理し，集約するための能力を学修する。

D) 先導力と起業家精神

インターンシップ科目やアントレプレナーシップ科目を通して，自分の専門分野と実社会の課題について理解と洞察を深め，自ら新しいプロジェクトを立ち上げる能力について学修する。

E) グローバル交渉力

系で提供している博士フォーラム科目や学院で提供している英語プレゼンテーション科目を通して，外国語で自らの主張をプレゼンテーションし，さらに議論する能力を学修する。

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

知能情報コースは2つの系に関係するため、それぞれの系のアドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）を掲載しております。

【数理・計算科学系】

数理・計算科学系では、次のような人材を求めます。

- ・ 情報理工学の研究対象に強い探求心を持ち、自律的に問題解決に取り組める人
- ・ 様々な現象に潜む数理的構造をモデリングして理解しようとする人
- ・ 情報理工学の理論的・数学的な問題解決に必要な専門学力を十分に有する人

【情報工学系】

情報工学系では、次のような人材を求めます。

- ・ コンピュータシステムの新しい研究課題に対して、幅広い視野と論理的思考能力により解決することに挑戦できる人
- ・ 様々な対象問題に対して、常識にとらわれず、新しいモデリングを考案して実現しようとする人

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

知能情報コースは2つの系に関係するため、それぞれの系のアドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）を掲載しております。

【数理・計算科学系】

学位論文（またはこれに代わる研究業績）による研究能力に関わる試問、数理・計算科学系の専門に関する学力、英語による語学力などについて、口頭試問などにより、数理・計算科学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

【情報工学系】

学位論文（またはこれに代わる研究業績）による研究能力に関わる試問、情報工学系の専門に関する学力、英語による語学力などについて、口頭試問などにより、情報工学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。